

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



講演していただきありがとうございました。涼香ちゃんが小学1年生で亡くなってしまったということは、とても悲しい出来事だと思います。また70年も生きておらずにしたいことは、たくさんあったと思います。私も小学1年生のころは、たくさんありました。でもその原動力を叶えられなかったことは辛いことだと思います。私には、兄がいて、私はかなりえんじゅがちで欲しいものがあったてもなかなか言えないときがあります。そのときに兄は、「欲しい物があったら言って」と優しく言ってくれます。この講演で私には優しい家族がいてけがなく事故なく幸せな日々があるんだと改めて思いました。また今生きている自分や友だちと笑顔でいることに喜び、そしてあたり前ではないと思ひ大切にしていきたいです。亡くなった人の靴とメッセージがあると聞いて少し胸が痛くなりました。その人たちは自分の意思で亡くなってしまったわけではないので悲しくなりました。涼香ちゃんは、飲酒運転をしていた人が事故をおこしてしまっ、て急に亡くなってしまったので礼子さんやご家族は心の準備ができていなくなりまなくなったので辛かったと思います。もし私の家族が「行ってきます」と言て帰ってこなかったら立ち直れずにいると思います。私が将来、車を運転するようになったら飲酒運転や子供見運転をして事故をおこしたら大切な命がなくなるということ絶えずに忘れないようにしていつも安全運転をしたいです。私は、自転車で学校に通っているのて、将来からではなく、今から安全運転をしていきたいです。

学校名

横手清陵学院中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

藤原麗

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に  
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今日の命の大切さ学習教室で、当たり前のように来る  
明日に感謝したいと思いました。自分も小学生の時の昼、  
家が急に発火し、ろうかの一部が燃えました。その時は  
昼で明るく、祖母が火に水をかけて消火してくれたか  
ら良かったものの、夜で暗くて、だれも気づかないまま  
燃やされて、今生きていなかったんだと思うと、とても  
こわくてきょうふにでいっぱいになります。時には、  
自分がどれだけ気をつけていても、そのような時はや  
て来るものだを知り、家族、友達をこれからも大  
切にして生きていかなければならぬ、と実感するこ  
とができました。また、命を投げ出したくなるよう  
なつらいことがあっても、悲しむのは自分では  
なくて家族だ、ということを理解して、自己中心  
的にならないように気をつけたいと思いました。  
先日は、生きることの大切さを教えてくださり、  
ありがとうございました。

学校名

横手清陵学院 中学校

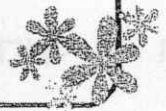
氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成 12 年 11 月 28 日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に  
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



命の大切さ学習教室に参加して、交通事故の恐しさを  
知ることができました。最近、交通事故のニュースをよく目  
にします。まだ小学生だったのに、運転手がたった1つのル  
ールをやぶってしまったことでその命がうばわれてしまったこと  
に心が痛みます。

私は駅から学校まで自転車で通っています。部  
活でおそくなる日もあります。横手清陵学院に通う人  
たちだけではなく、他の学校の人とすれちがうこともよく  
あります。そのような時に、「私は急いでいる」と思うだけではなく、  
歩行者、自転車にも注意をして相手の体だけではなく、  
相手を大切に想っている人の気持ちも考えて、自転車などを  
運転しようと思います。1人1人が「事故を起こさない」とい  
う強い気持ちを持って運転し、大切な命がうばわれない  
日がくることを強く願います。

今回、大崎さんのお話を聞いて、交通事故について  
より深く考えることができました。

ありがとうございました。

学校名

横手清陵学院中学校

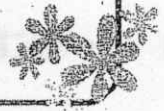
氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



講演会ありがとうございました。今回このようなお話を通して命の大切さをあらためて理解する事ができました。涼香ちゃんが事故により亡くなってしまった。また「ごいとおこは命一つを失くしてしまつた。罪のない自分の家族を亡くしてしまう事は、あまりにも苦しい事です。涼香ちゃんの亡くなった出来事か、月日が経ち記憶からうすれていく事、声も忘れてしまう。記憶から大切な人の事が消えてしまふ。手にもどしたくてもはなれていってしまう。そう感じました。死を軽く扱つてはいけません。死をちゃんと理解してこそ命の大切さを本当に分かる事ができる。涼香ちゃんの誕生日の日と命日の日。涼香ちゃんのことを思つて過ごしていきたいと思います。大崎礼子さんのご家族の方へ。大切な人を失くして生きていく事は、すごくつらい事です。私も小さいころ沢山お世話してもらつたおじいちゃんを亡くしてしまふ。苦しい記憶をかかえながら生きる。それは死とどほい合わせる程重いです。それでも大切な人のため生きる。ほつち高い事です。これからは私もかんはつて生きていきたいです。本当にありがとうございました。

どうかみえで  
学校名

横手清陵学院中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

小野寺 田香里

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に  
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今回の講演を聞いて、普段の生活や学校生活で、自分の  
身や命に注意をはら、て行動しようと思いました。

僕自身、小学3年生の時に事故にあいけがをしました。で初  
め、もうこのような事が、これから起きない・起さないう  
ようにします。

それから、講演の際、最初は大崎さんがおっしゃっていた、誓いの  
言葉。大崎さんのお話を聞きながら、僕の誓いの言葉を考  
えてみました。

僕の誓いの言葉は、「一つしかないからこそ大切に」です。

みんな、命は1人につき一つしかないですね。一つしかない  
からこそ、自分の命を何よりも大切に大切に扱わなければ  
ならないんだと、僕も改めて知ったし、みんなに知ってもらい  
たく、このような誓いにしました。

これからの生活で、自分の身や命に一生危険が及ばない  
ために、僕の誓いの言葉をして、大崎さんが教えて下さった  
沢山の言葉を忘れず、安全で安心な生活を送っていきます。

学校名

秋田県立横手清陵学院中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

たか はし ひさお  
高橋 寿緒

より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に  
飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今回の教室でお話をきいて、あらためて命の大切さを知ることで  
できました。もし自分が被害者だったら、被害者の家族だったらなど  
考えながらお話をきいてきました。もし私が事故の被害者いたら  
やりのしつこさでたぶんあるな、あのときみんなとしなければ「おれは」  
と思うと思えます。もし私が被害者の家族だったら、あのときこうしておけば  
おれは」と考えると思えます。お話をきいたあとに今までの自分を振り返り  
返ってみて、友達や家族にひどいことを言ったりしてたりしてたりで、  
自分の周りの人を大切にしてきたなと思えます。事故は「けいなく  
いじめなどで自ら命をおとしている人もたくさんいると思うので、相手へ  
向けに発言、行動には気を付けてきたなと思えます。  
お話の中におれ「被害者にも加害者にもなるな」といふ言葉を  
きいて、被害者にも加害者にもなるなとめにはどけられは  
のかを考えてこれから生活して「きつ」と思えます。  
命の大切さについて考えることができてよかった。  
おれは」といふこと。

学校名

秋田県立横手清陵学院中学校

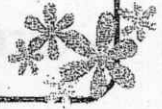
氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

宇元 (まのち) より

# 命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



今日の学習教室に参加して、人の死はどんな他人事にも感じてしまうものだけれど、自分にも自分の大切な人にも身近でいつ起っててもおかしくないよとびっくりというところも分かりました。

大崎さんのお話を聞いていて、いつもと変わりが無い日はなかった。今まで当たり前だったことが一瞬で当たり前でなくなってしまう悲しさを知りました。私はいつも自転車で通学しているので、自分もいつも使用している自転車でさえ人の命を奪ってしまう危険があることを知り、今まで以上に運転するとき気を付けてほしいと感じました。後悔というものは生きてつらいものだけれど、命に関係する後悔はとても強く重いものだからと受け止めます。もしあの時、こうしていいよ...という後悔をしなければいけなくていつも周りに注意して過していいと思っていました。いつもと同じことをしていいけれど、加害者か被害者かによって違うともあると知ったので、大崎さんのお話にもあって「命は奪っても奪われてもいいけれど」ということを意識して過せたいと思えました。自分も事故の加害者、被害者のどちらにもなりかねないから気を付けて過していいです。

学校名

横手青陵学院中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より